

キヤノンアネルバ 企業年金だより

No. 5

2010年11月

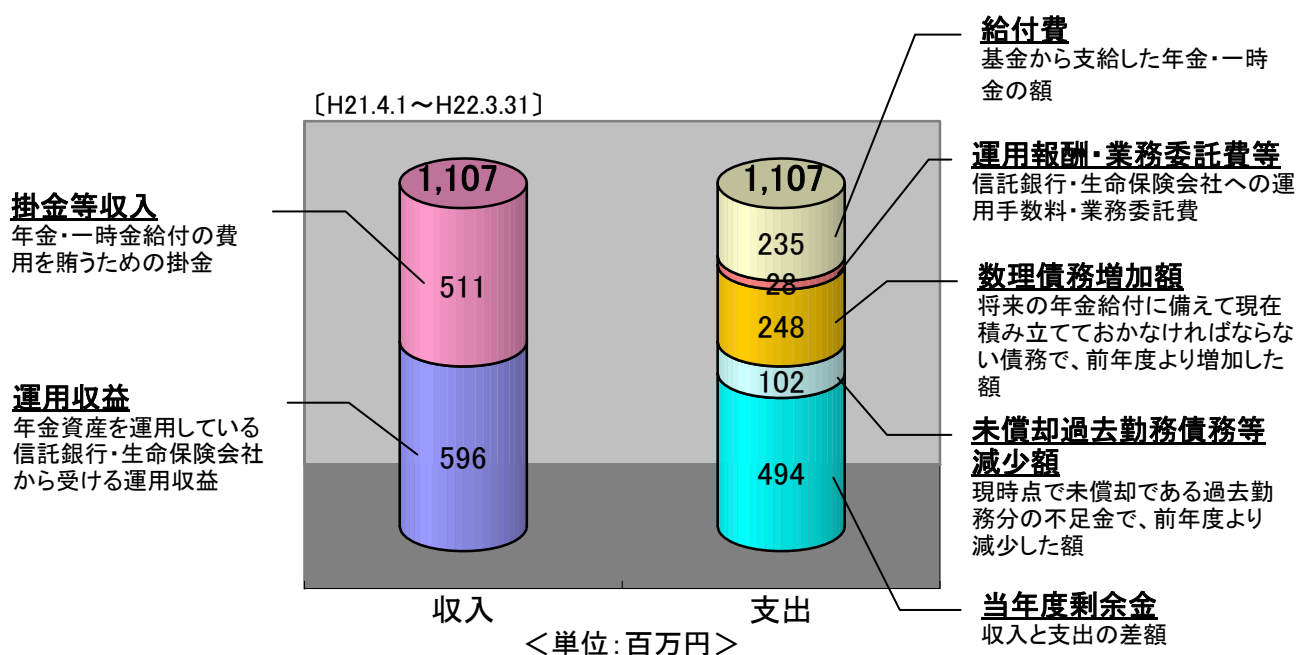
平成21年度の決算のおしらせ

去る7月9日に開催された第15回代議員会において、平成21年度の事業報告及び決算が審議され、その結果、満場一致で可決・承認されましたので、決算のあらましをお知らせします。

年金経理

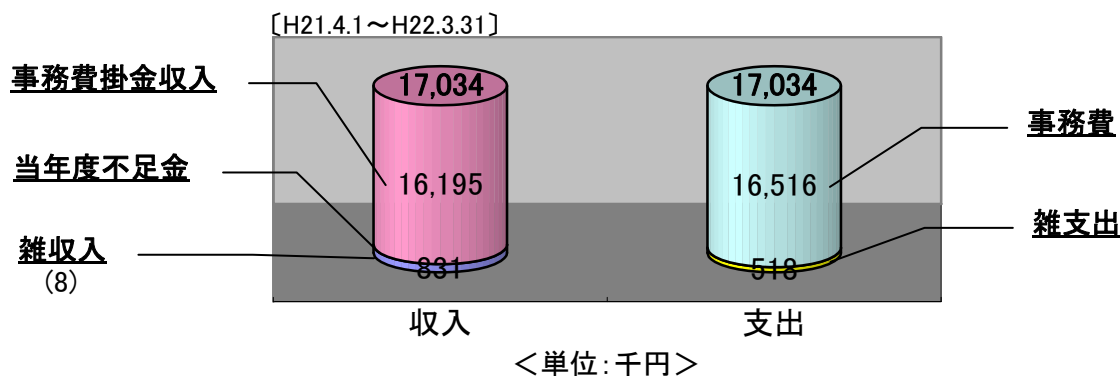
年金・一時金の給付に必要な資産を扱う経理です。
掛金収入と積立金を運用し、収益の向上を図ります。

平成21年度の年金経理の収入は、事業主からの掛金と年金資産の運用収益を合計して、11億7百万円となりました。支出は給付費と運用報酬等、数理債務増加額、未償却過去勤務債務等減少額を合計して6億1千3百万円となりました。この結果、収支差である4億9千4百万円が当年度剰余金として計上されました。剰余金が計上された要因は、平成21年度はギリシャの財政問題等があったものの、国内外の株式市場が概ね好調に推移したことなどが影響し、年金資産全体の運用利回りが14.85%になったことなどによります。



業務経理

基金の事業運営に必要な業務に関する経理です。



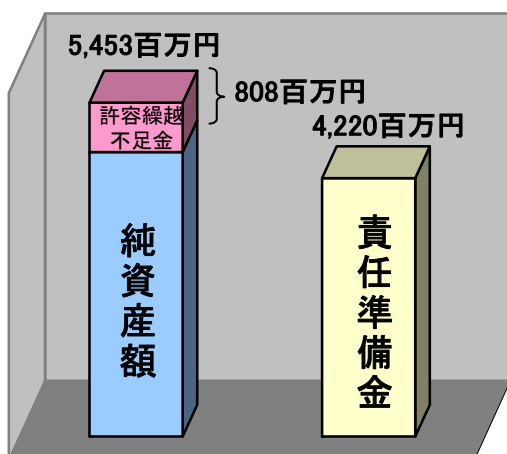
平成21年度財政検証報告

基金では、将来にわたって安全かつ確実に年金や一時金を支給していくために、毎年度財政決算を行なうとともに、年金資産の積立状況の財政検証(継続基準・非継続基準)を行なっています。平成21年度の当基金の財政検証の結果は以下のとおりです。

継続基準による検証

『継続基準』とは、基金が安定的に給付を行っていくための年金資産が、計画どおり積立られているかを検証するもので、責任準備金と純資産額を対比して行ないます。不足金が一定額を超えると繰上げ計算に該当し、直ちに掛金変更計算を行ない、財政の健全化を図らなければなりません。

※責任準備金＝数理債務(6,203百万円)－過去勤務債務(1,983百万円)



$$\frac{\text{純資産額} + \text{許容繰越不足金}}{\text{責任準備金}} = \frac{5,453 \text{百万円}}{4,220 \text{百万円}} = 1.29$$



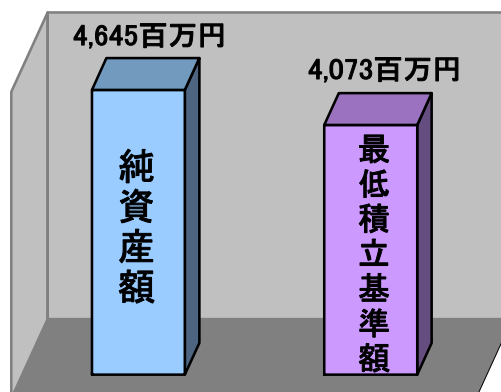
基準値: 1.00以上

検証結果 積立比率は基準以上であるため、財政再計算による掛金率の見直しは必要ありません。

非継続基準による検証

『非継続基準』とは、仮に基金が解散した場合に、その時点での加入者や受給者の受給権が確保できる資産が積み立てられているかを検証します。下記の検証基準によって算出した率が必要水準に達していない場合には、積立水準の回復計画を策定するなどの対応が必要になります。

※最低積立基準額の割引率は2.44%を使用



$$\frac{\text{純資産額}}{\text{最低積立基準額}} = \frac{4,645 \text{百万円}}{4,073 \text{百万円}} = 1.14$$



基準値: 0.90以上

検証結果 積立比率は基準値を上回っており、積立水準の回復計画を策定する必要はありません。

当基金の現況

<平成22年3月末現在>

●加入者数 1,340人 男性 1,220人 女性 120人	●受給者数 36人 男性 35人 女性 1人	●受給待期者数 29人 男性 27人 女性 2人	●給付額 227,422,045円 老齢給付金 (年金) 18,447,445円 (一時金) 163,174,300円 脱退一時金 39,485,800円 遺族給付金 6,314,500円
--------------------------------------	------------------------------	--------------------------------	---

平成21年度の資産運用状況

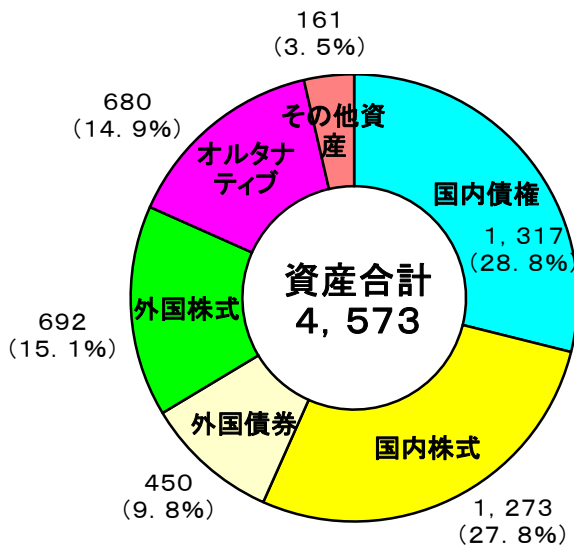
当基金の平成21年度の年金資産運用利回りは14.85%で、5億9千6百万円の運用収益を計上することができました。

当基金の資産構成割合

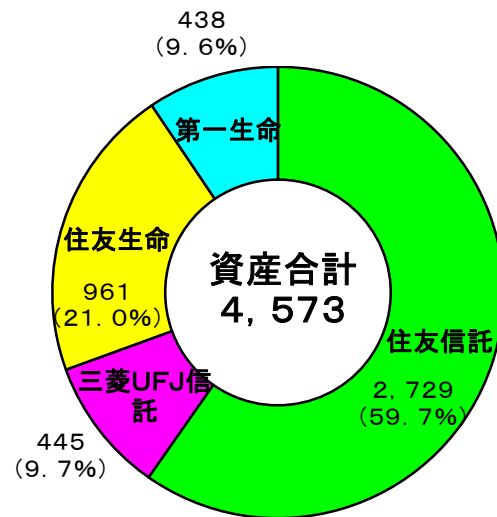
基金は、年金資産の積立金を複数の運用機関および運用商品に分散投資して、安全かつ効率的に運用することが義務付けられています。そのためには、中長期の経済や市場の動向を勘案した政策アセットミクスを策定し、これをベースに資産運用を実施しています。

当基金の平成21年度の運用商品別、および受託機関別資産構成割合は、以下のとおりです。

運用商品別 資産構成割合



受託機関別 資産構成割合



<単位:百万円>

当基金の資産運用実績

当基金の平成21年度の運用商品別利回りは以下のとおりでした。

資産運用実績 (時間加重収益率)

運用資産	国内債権	国内株式	外国債券	外国株式	オルタナティブ	短期資産	合計
運用実績	2.20%	31.76%	0.45%	44.21%	8.52%	0.45%	15.51%

役員交代

4月28日付けで、新任理事長に穂山和博氏、常務理事に松原靖氏が就任されました。更に、10月8日付けで事務長が交代し、浅野潔氏が事務長に就任しました。

理事長就任のご挨拶

キヤノンアネルバ企業年金基金
理事長 穂山 和博

加入員ならびに受給者の皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。この度、成田正人前理事長の後任として、理事長に就任いたしましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

平成21年度は、途中景気後退の局面もありましたがその後順調に回復し、14.85%の運用利回りを確保することができました。平成22年度は円高の進行等による不透明な部分はあるものの、受託機関の運用見通しを踏まえ、引き続き資産の安定運用に努めてまいります。

欧州における財政問題や米国の景気減速懸念等により、当基金を取り巻く状況はまだ厳しいものがありますが、今後とも健全な基金運営に邁進してまいりますので、皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代議員・役員名簿

任期 平成23年7月19日

職位	氏名	所属
理事長(選定理事)	穂山 和博	取締役
常務理事(選定理事)	松原 靖	管理センター所長
事務長(選定理事)	浅野 潔	キヤノンアネルバ企業年金基金
互選理事	村岡 正智	情報システム第二課
互選理事	小山内 康彦	海外業務支援課
互選理事	関戸 真	富士工場 コンポーネント製造課
監事(選定代議員)	小川 貫	経理部 財務課
監事(互選代議員)	内藤 公士	総務部 施設課
選定代議員	迎 雅彦	富士工場 製品品質保証第二課
選定代議員	鹿島 伸明	生産推進部 輸出業務課
選定代議員	山田 民夫	装置開発第四課
互選代議員	森谷 耕市	本社調達部 調達管理課
互選代議員	菅野 寿朗	富士工場 製造設計課
互選代議員	竹内 昭憲	富士工場 装置製造第一課

資産運用委員会名簿

任期 平成23年7月19日

職位	氏名	備考
委員長	小川 貫	
副委員長	松原 靖	運用執行理事
委員	迎 雅彦	
委員	山田 民夫	
委員	森谷 耕市	
委員	浅野 潔	事務局

【事務局からのお知らせ】

本年度の「企業年金だより」は、経費削減活動の一環として簡易版での発行とさせていただきます。

「企業年金だより」第5号

発行元:キヤノンアネルバ企業年金基金

〒215-8550 神奈川県川崎市麻生区栗木2-5-1

TEL 044-986-4227

平成22年11月 発行

担当者:浅野(内線3586)